

各機関の減災に係る取組状況等 ～ 金沢河川国道事務所 ～

取組項目	堤防天端の保護、堤防法尻の保護
内 容	堤防天端の保護、堤防法尻の保護を実施中
実施主体	国土交通省金沢河川国道事務所

国土交通省金沢河川国道事務所は、越水等が発生した場合でも決壊までの時間を少しでも引き延ばすよう堤防構造を工夫する対策を実施しています。

【実施概要】

- ・内 容：① 手取川・梯川において、堤防天端及び堤防法尻の保護を実施



天端保護(手取川 左岸12.0k付近)



法尻保護(梯川 右岸11.8k付近)

取組項目	円滑な避難活動や水防活動等に資する監視カメラや簡易水位計、侵食センサー等の整備
内 容	簡易水位計、侵食センサー等設置について検討中
実施主体	国土交通省金沢河川国道事務所

金沢河川国道事務所は、円滑な避難活動や水防活動等に資するため、簡易水位計や侵食センサーなどの設置について検討を行っています。

【実施概要】

- ・内 容：① 簡易水位計や侵食センサー等の設置が必要な箇所を検討

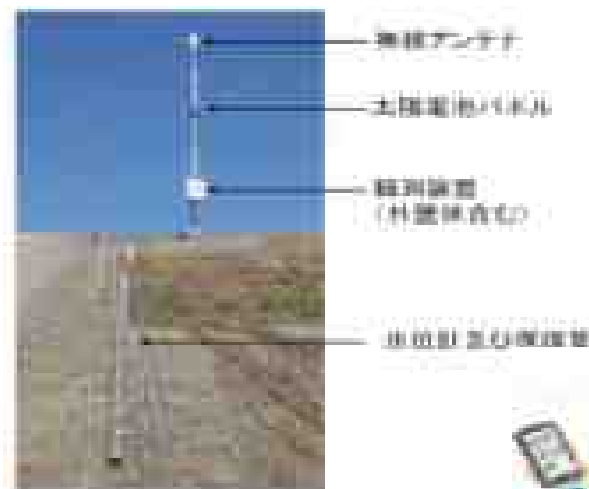
【侵食センサー】

手取川のような急流河川では、危険箇所に侵食センサーを設けて、洪水時の侵食の状況を把握。迅速な水防活動や避難行動に結びつける。



【簡易水位計】

梯川のような緩やかな河川では、河川の危険箇所や、河川周辺に簡易水位計を設置。安全な場所への避難に結びつける。



携帯電話等

取組項目	氾濫特性を踏まえたリアルタイムの浸水情報提供
内 容	プッシュ型の洪水予報等の情報配信をH29. 6. 15より実施
実施主体	国土交通省金沢河川国道事務所

国土交通省金沢河川国道事務所は、流域住民の主体的な避難を促進するため、手取川・梯川の流域自治体において、携帯電話事業者が提供する緊急速報メールを活用した洪水情報のプッシュ型配信を開始予定です。

【実施概要】

- ・日 時：平成29年6月15日
- ・内 容：① 手取川・梯川において、河川氾濫のおそれがある(氾濫危険水位を超えた)情報及び河川氾濫が発生した情報を配信



洪水情報のプッシュ型配信イメージ

取組項目	想定最大規模も含めた破堤点別浸水想定区域図、家屋倒壊等氾濫想定区域図の公表
内 容	洪水浸水想定区域図をH29. 4. 17に公表
実施主体	国土交通省金沢河川国道事務所

金沢河川国道事務所は、市町のハザードマップ改訂に必要となる想定最大規模の浸水想定区域を公表しました。

【実施概要】

- ・公表日：平成29年4月17日(月)
- ・内 容：① 洪水浸水想定区域図の策定・公表
② 家屋倒壊等氾濫想定区域図を作成し自治体へ提供
③ 想定最大規模降雨の氾濫シミュレーションの公表



手取川浸水想定区域図
(想定最大規模)



梯川浸水想定区域図
(想定最大規模)

取組項目	想定される最大規模の降雨による浸水や家屋倒壊に対応する「立ち退き避難区域」等を検討し、ハザードマップに反映
内 容	水防連絡会においてハザードマップポータルサイトを周知
実施主体	手取川・梯川・石川海岸水防連絡会

手取川・梯川・石川海岸水防連絡会では、水防連絡会開催時に出席者に対してハザードマップポータルサイトの周知を行いました。

【実施概要】

- ・日 時：平成28年5月9日(月) 14:30～15:20
- ・参加者：手取川・梯川・石川海岸水防連絡会構成員等(石川県、関係自治体首長等、関係民間企業、金沢地方気象台、金沢河川国道事務所等) 約60名
- ・内 容：① ハザードマップポータルサイトの周知



会議の状況

取組項目	外水・内水氾濫に対応した水防団等への迅速な水防活動の連絡体制の確保や実働訓練の実施
内 容	排水ポンプ車操作訓練を実施
実施主体	国土交通省金沢河川国道事務所

金沢河川国道事務所は、職員自らが排水ポンプ車の設営手順等を理解し、排水ポンプ車出動時の現地作業員への適切な指示・指導を行うことを目的として、操作訓練を実施しました。

【実施概要】

- ・日 時：平成28年6月14日(火) 14:00～16:30
- ・参加者：七尾市、内灘町、野々市市、白山市、小松市、加賀市、金沢河川国道事務所 約20名
- ・内 容：① 排水ポンプ車の設営及び排水作業



訓練状況



訓練状況



訓練状況

取組項目	自治体関係機関や水防団が参加した洪水に対するリスクの高い箇所の合同巡視の実施
内 容	重要水防箇所等(河川)の合同巡視を実施
実施主体	手取川・梯川・石川海岸水防連絡会

手取川・梯川・石川海岸水防連絡会は、洪水に対しリスクが高い区間(重要水防箇所等)の点検を行いました。

【実施概要】

- ・日 時：平成28年6月10日(金) 9:00～17:00
- ・参加者：手取川・梯川・石川海岸水防連絡会構成員(石川県、関係自治体、関係民間企業、金沢地方気象台、金沢河川国道事務所)、水防団 約40名
- ・内 容：① 手取川及び梯川における重要水防箇所の点検
② 手取川及び梯川における水防倉庫の点検



手取川 右岸3.8k(能美市粟生町)



梯川 左岸8.5k(小松市佐々木町)



南加賀土木総合事務所水防倉庫

取組項目	毎年、関係機関が連携した水防実働訓練等を実施
内 容	洪水対応演習を実施
実施主体	国土交通省金沢河川国道事務所

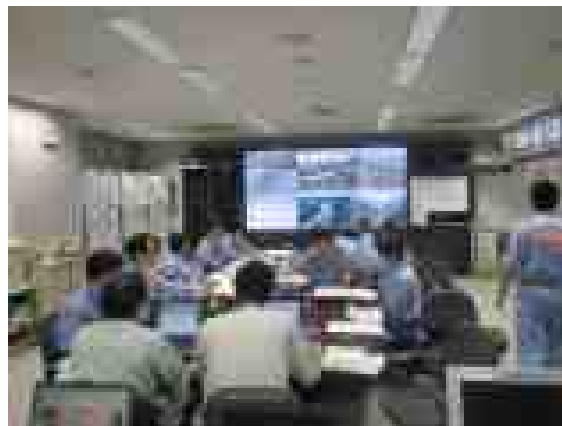
金沢河川国道事務所は、防災情報の的確な情報伝達等を確認し、防災体制に万全を期すことを目的に関係機関と合同で総合的な洪水対応演習を実施しました。

【実施概要】

- ・日 時：平成28年5月27日（金） 9:00～17:00
- ・参加者：石川県、小松市、白山市、能美市、野々市市、川北町、陸上自衛隊、北陸電力㈱、電源開発㈱、金沢地方気象台、金沢河川国道事務所
- ・内 容：① 関係機関への洪水予報、水防警報等の情報伝達の演習
② ダム・水門など河川管理施設等の操作ルールの確認、操作状況の確認及び情報伝達の演習
③ 水防活動に関する情報の集約・発信の演習



演習状況



演習状況



演習状況

取組項目	昭和9年洪水を伝承し、水防工法を学ぶ親子防災教室の実施
内 容	手取川アウトドア教室を開催
実施主体	国土交通省金沢河川国道事務所

金沢河川国道事務所は、手取川上下流の児童と保護者を対象とした「手取川アウトドア教室」を開催し、過去の災害を学び、防災情報の共有を図りました。

【実施概要】

- ・日 時：平成28年8月3日（金） 9:00～15:30
- ・参加者：手取川上下流域の児童、保護者など 約80名
- ・内 容：① 過去に手取川で発生した災害について学習
② 昭和9年の手取川大洪水で流れ出た「百万貫の岩」を見学



手取川アウトドア教室 チラシ



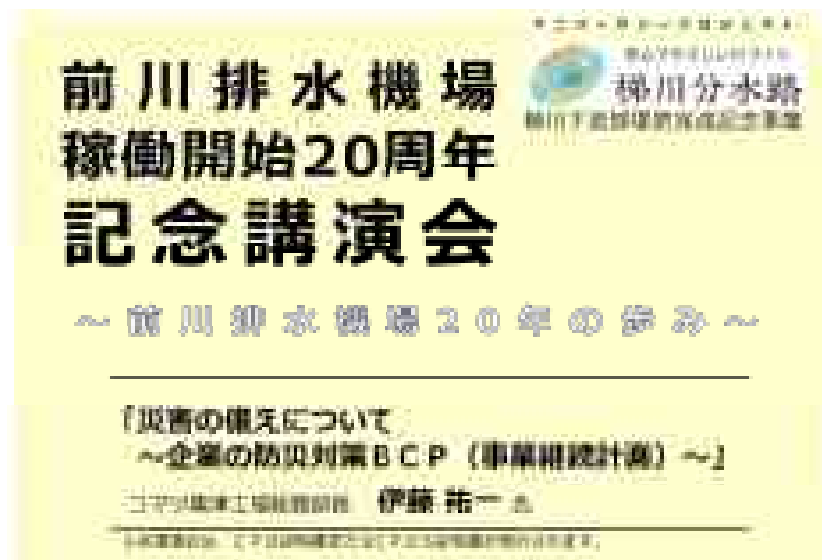
学習状況

取組項目	効果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布
内 容	防災意識の高揚を図る講演会やパネル展示を実施
実施主体	国土交通省金沢河川国道事務所

金沢河川国道事務所は、前川排水機場稼働20周年を記念し、コマツ栗津工場総務部長を講師とした防災意識の高揚を図る講演会やパネル展示を実施しました。

【実施概要】

- ・日 時：平成28年6月18日（土） 10:00～12:00
- ・参加者：一般参加者 約200名
- ・内 容：① コマツ栗津工場総務部長を講師とした企業の防災対策についての講演
② 防災意識の高揚を図るパネル展示



記念講演会 チラシ



講演会の状況



パネル展示の状況

取組項目	国・県・自治体職員等を対象に、水防技術講習会を実施
内 容	水防工法講習会を開催
実施主体	手取川・梯川・石川海岸水防連絡会

手取川・梯川・石川海岸水防連絡会では、石川県内自治体、消防団、建設コンサルタント協会と合同で水防工法講習会を開催しました。

【実施概要】

- ・日 時：平成28年6月2日(木) 9:30～14:30
- ・参加者：手取川・梯川・石川海岸水防連絡会(石川県、関係自治体、関係民間企業、金沢河川国道事務所)消防団、建設コンサルタント協会 約170名
- ・内 容：① 水防工法の実技



縄の結び方についての実技



月の輪工の実技



木流し工の実技

取組項目	大規模災害時の救援・救助活動等の支援のための拠点等配置計画の検討を実施
内 容	小松市千代地区において防災拠点設置の検討を実施
実施主体	国土交通省金沢河川国道事務所

金沢河川国道事務所は、小松市千代地区において、新たな防災拠点設置のための検討を行っております。

【実施概要】

- ・内 容：① 新たなブロックストックヤード設置に向けた検討を実施



取組項目	要配慮者利用施設による避難確保計画の作成に向けた支援を実施
内 容	梯川の氾濫を想定したDMAT局地災害対応力向上研修を支援
実施主体	国土交通省金沢河川国道事務所

金沢河川国道事務所は、梯川の氾濫を想定したDMAT局地災害対応力向上研修の支援を実施しました。

【実施概要】

- ・日 時：平成29年1月15日(日) 13:00～15:30
- ・参加者：県内医療機関の医師、看護師、業務員、調整員 約30名
- ・内 容：① ハザードマップを活用して梯川の氾濫で浸水する可能性のある医療機関や介護施設などの要支援者の施設を地図に落とす
② 被害を受けた施設役のコントローラーに連絡し、入院患者や入所者の状況を把握（医療に関する被害や情報を地図上で整理）
③ 被災地である小松市民DMAT以外のDMATを、小松市民病院の支援、浸水する施設の入院患者や入所者の避難、避難所など、どこにどれだけどのようにDMATを投入するのかを地図上でシミュレーション



演習状況



演習状況



演習状況

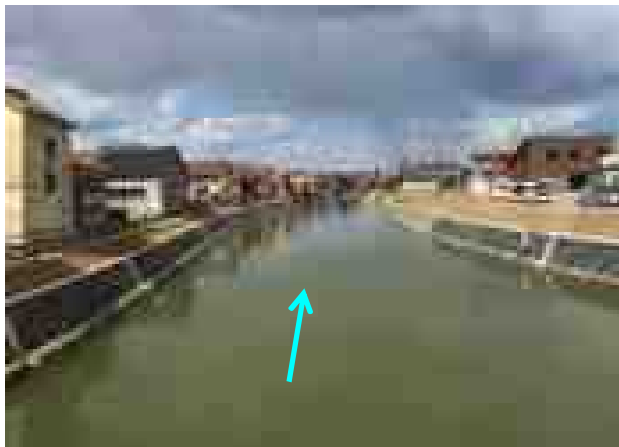
各機関の減災に係る取組状況等 ～ 石川県 ～

取組項目	洪水を河川内で安全に流すための引堤や河道掘削、浸透対策等
内 容	洪水を安全に流すためのハード対策を推進
実施主体	石川県

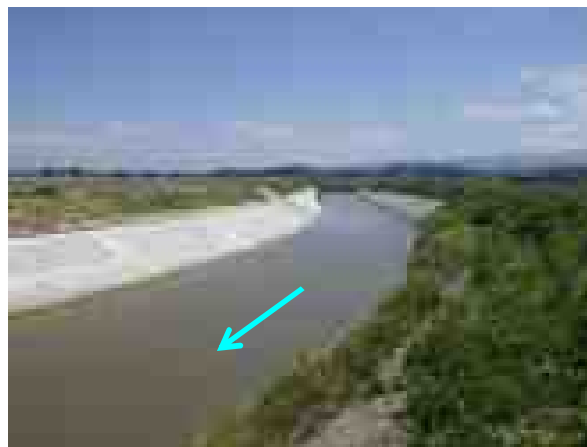
石川県は、洪水を河川内で安全に流すため、護岸整備や浸透対策を実施しました。

【実施内容】

- ① 前川における河川改修(護岸整備)
- ② 鍋谷川における堤防補強(浸透対策)
- ③ 八丁川における堤防補強(浸透対策)



【河川改修実施箇所】
前川 今江新橋下流 (小松市今江町)



【堤防補強実施箇所】
鍋谷川 鍋谷川橋上流(左岸:小松市古府町
こふ
(右岸:能美市牛島町)



【堤防補強実施箇所】
八丁川 河原橋下流(小松市長田町)

取組項目	赤瀬ダムの適切な施設管理
内 容	赤瀬ダムの適切な施設管理
実施主体	石川県

石川県は、赤瀬ダムの適切な施設管理のため、平成28年度に以下の点検等を実施しました。

【内容】

- ① ダムの土木・機械・電気通信の設備の点検及び監視項目の計測の実施
- ② ダム管理演習の実施(H28.5.27)
- ③ ダム関連設備の改良・更新・維持修繕工事等の実施



【①点検整備基準に基づく設備点検】
ダム堤体内の基礎排水量の計測状況



【②ダム管理演習の実施(H28.5.27)】
放流警報装置の操作演習の状況



【③維持修繕工事の実施】
ダム貯水地内の流木を除去状況

取組項目	新技術を活用した水防資機材の検討及び配備
内 容	①水防資機材の配備状況の確認・整備 ②新技術を活用した水防資機材等の配備を検討する
実施主体	石川県、国土交通省金沢河川国道事務所、流域自治体など

①石川県は、金沢河川国道事務所や流域自治体などと合同で水防資機材の配備状況の点検を行いました。

【南加賀土木】

- ・日 時：平成28年5月30日(月)
- ・参加者：石川県、金沢河川国道事務所、小松市、能美市ほか

【石川土木】

- ・日 時：平成28年5月31日(火)
- ・参加者：石川県、金沢河川国道事務所、白山市、野々市市ほか

②新技術を活用した水防資機材の配備を今後検討していきます。



【南加賀土木 水防倉庫】
鍋谷川 国府水防倉庫(小松市千代町)



【石川土木 水防倉庫】
手取川 用山堤水防倉庫(能美市岩本町)

取組項目	氾濫特性を踏まえたリアルタイムの浸水情報提供
内 容	・石川県河川総合情報システムによる情報提供 ・スマートフォンの普及にあわせて見やすく操作が容易な画面の作成 ・メール登録することで、気象、雨量、水位情報が自動配信
実施主体	石川県

石川県では、河川総合情報システムにより、リアルタイムの気象・雨量・河川水位情報について広く一般に情報提供を行い、防災情報の充実を図っています。

【活動実績】

- ・パソコンや携帯電話、スマートフォンを介して、県全域の雨量や主要河川における水位情報を、分かり易くかつ迅速に広く県民等に提供
- ・メール自動配信サービス登録者に対しては、気象、雨量、水位情報を無料配信
- ・平成28年度には、社会全体をより豊かなものへと導くことを目的に「総合的な良いデザイン」が表彰されるグッドデザイン賞を受賞



河川総合情報システムによるリアルタイムの雨量・水位情報の提供

■ 気象や雨量、河川水位などの情報をメールでお届け

お住まいの地域の気象警報や注意報、強い雨に降っている箇所や水位が上昇し危険な河川の情報をメールで配信しています。登録は無料です（通話料は別途必要）。
早めの登録行動をとるためにも、ぜひご登録ください。

【登録方法】

1. 空メールを次のアドレスに送信します。
mailto:myentry@mail.kanet.pref.jp/showa-ic.jp
2. システムから送信されるメールに記載されている電話番号にアクセスします。
3. 登録用フォームで配信情報を選択すれば、登録完了です。

上記のQRコードから登録いただけます。

メール自動配信サービスにより気象・雨量・水位情報を無料配信
(ぜひこの機会にメール登録をお願いいたします)

取組項目	想定最大規模も含めた破堤点別浸水想定区域図、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表(浸水ナビ等による公表)
内 容	・前川、八丁川、鍋谷川について、想定最大規模も含めた洪水浸水想定区域図の策定・公表 ・前川、八丁川、鍋谷川について、家屋倒壊等氾濫想定区域図を作成し自治体へ提供
実施主体	石川県

【活動実績】石川県では、一級河川前川において、想定し得る最大規模の降雨による洪水浸水想定区域図の検討に着手しました。



県から市町に
情報提供



今後、市町(水防管理者)が洪水浸水想定区域図を基に避難場所の位置や連絡先、避難情報の伝達方法等を記載した「洪水ハザードマップ」を作成し公表を行う。

洪水浸水想定区域図のイメージ(上図は公表済みの計画規模降雨による洪水浸水想定区域図)

取組項目	効果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布
内 容	水防災に関する広報活動の実施
実施主体	石川県

石川県では、平時よりマスメディアを活用した広報活動や啓発リーフレットの配布、勉強会等の実施により、水防災に関する情報の周知・教育に努めました。

【活動実績】

- ・新聞や県のテレビ広報番組を活用した、平時からの水防災情報の周知・教育
- ・水防団員を対象とした水防災情報の利活用に関する勉強会の実施
- ・イオン等の小売店やコンビニエンスストアへの啓発リーフレットの配布(置きチラシ)



啓発リーフレットの配布



「広報いしかわ」への記事登載



県テレビ広報番組による水防災情報の周知・教育

取組項目	外水・内水氾濫に対応した水防団等への迅速な水防活動の連絡体制の確保や実働訓練の実施
内 容	情報伝達、水防訓練の実施
実施主体	石川県、国土交通省金沢河川国道事務所、流域自治体など

石川県は、流域自治体や建設業協会などと合同で、洪水等の発生に対する円滑な情報収集・伝達や被害を最小限に抑えるための水防訓練を実施しました。

【南加賀土木】

- ・日 時：平成28年6月17日(金)
- ・参加者：石川県、小松市、能美市、小松能美建設業協会ほか

【石川土木】

- ・日 時：平成28年6月21日(火)
- ・参加者：石川県、白山市、白山・石川建設業協会ほか

〔内 容〕

- ・水防警報の発表や情報伝達訓練
- ・避難準備情報発令に対する訓練
- ・水防団による水防活動訓練



【南加賀土木】
関係機関との情報伝達訓練



【南加賀土木】
鍋谷川 水防活動訓練(月の輪工)



【石川土木】
関係機関との情報伝達訓練

取組項目	自治体関係機関や水防団が参加した洪水に対するリスクの高い箇所（重要水防箇所）の合同巡視の実施
内 容	重要水防箇所等の合同巡視を実施
実施主体	石川県、国土交通省金沢河川国道事務所、流域自治体など

石川県は、金沢河川国道事務所や流域自治体などと合同で洪水に対しリスクが高い区間（重要水防箇所）等の点検を行いました。

【南加賀土木】

- ・日 時：平成28年5月30日（月）
- ・参加者：石川県、金沢河川国道事務所、小松市、能美市ほか

【石川土木】

- ・日 時：平成28年5月31日（火）
- ・参加者：石川県、金沢河川国道事務所、白山市、野々市市ほか

〔内 容〕

- ・前川及び鍋谷川における重要水防箇所の点検、鍋谷川における水位観測局の点検
- ・高橋川における重要水防箇所の点検



【南加賀土木 重要水防箇所】
前川 今江新橋付近（小松市今江町）



【南加賀土木 水位観測局】
鍋谷川 牛島水位観測局（小松市牛島町）



【石川土木 重要水防箇所】
高橋川（野々市市新庄1丁目）

取組項目	国・県・自治体職員等を対象に、水防技術講習会を実施
内 容	水防技術講習会に参加
実施主体	手取川・梯川・石川海岸水防連絡会

石川県は、水防の意義及び重要性を理解し、水防技術の習得・研鑽及び水防知識・心構えの再認識を目的に水防工法講習会に参加しました。

【実施概要】

- ・日 時：平成28年6月2日(木)10時～14時30分
- ・参加者：石川県内の関係機関及び消防団
- ・内 容：① 基礎的実技：縄結び、鉄線結束、土のう作り
② 工 法 実 技：月の輪工、シート張り工、立てかご工、木流し工、
積み土のう工、改良積み土のう工



月の輪工



立てかご工



シート張り工

取組項目	要配慮者利用施設による避難確保計画の作成に向けた支援を実施
内 容	要配慮者利用施設の管理者に対して説明会を実施
実施主体	石川県、北陸地方整備局、金沢地方気象台

石川県は、洪水時等に適切な避難行動がとられるよう河川情報等に関する理解を深め
てもらふ為、要配慮者利用施設の管理者に対して説明会を実施しました。

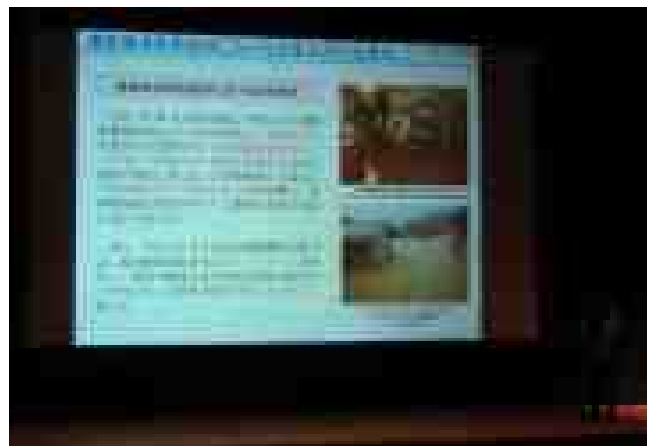
【実施概要】

- ・日 時：平成29年4月21日(金)14時～16時
- ・場 所：小松市公会堂
- ・参加者：加賀地区 要配慮者利用施設の管理者(約190名)
- ・内 容：段階的に発表する防災気象情報の紹介や避難確保計画の作成方法、河川
情報の入手方法などを説明



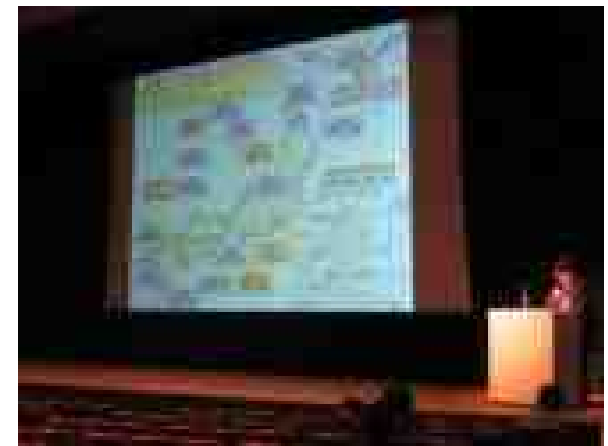
【石川県】

河川情報等の入手方法について説明



【北陸地方整備局】

避難情報の種類や伝達方法、避難確保計画の作成方法等について説明



【金沢地方気象台】

段階的に発表する防災気象情報の紹介、¹⁰
防災気象情報の入手方法等について説明

各機関の減災に係る取組状況等 ～ 金沢地方気象台 ～

取組項目	①氾濫特性を踏まえたリアルタイムの浸水情報提供
内 容	危機的状況を市町へ伝える情報改善
実施主体	金沢地方気象台

市町への防災気象情報利活用アンケート、市町への聞き取り調査：小松市（H25梯川出水）や鬼怒川氾濫をうけての市町への防災支援強化の検討と改善実施

・【実施概要】

・日 時：平成28年6月

・内 容：

①予報官コメント改善：危機的状況を伝える緊急コメントの新設

②短文形式の気象情報拡充：危機的状況前に住民への警戒呼びかけを強化

③ホットラインの改善：指定河川対応のホットラインめやすを新設

予報官コメントの改善

「危機的状況を伝えるカラーコード（紫）」

緊急！

掲載例

【今後可能性のある防災事項】

〇〇北部では土砂災害の危険度が非常に高まっており、〇川では氾濫のおそれが高い。△△まで非常に激しい雨が継続、早めの避難を心がけ市町の避難情報に注意。

短文形式の気象情報の改善

危機的状況が差し迫った段階（予報官コメント紫コード）での発表例
（見出し）加賀県南部では土砂災害の危険度が非常に高まっており、梯川では氾濫のおそれ高い。△△まで非常に激しい雨が継続、早めの避難を心がけ市町の避難情報に注意。

ホットラインの運用改善

今出水期から追加しためやす
・手取川：氾濫危険情報発表中に50年に一度の値を超えた格子が出現、もしくは記録的短時間大雨情報を発表
・梯川：氾濫危険情報発表中に50年に一度の値を超えた格子が出現、もしくは記録的短時間大雨情報を発表、もしくは3時間40mm以上の流域雨量が予想される場合

取組項目	①氾濫特性を踏まえたリアルタイムの浸水情報提供
内 容	防災情報の改善事項を首長訪問で説明
実施主体	金沢地方気象台

気象台と市町の連携強化、よりよい防災気象情報の利活用促進のため、気象台長による、流域市町首長訪問を実施。

・【実施概要】

・日 時 : 能美市7/12、小松市7/13、白山市7/19、川北町7/21、野々市市9/7

・内 容 :

流域市町の首長他防災、建設部局担当者対し、今年度の改善内容説明を実施。
防災気象情報の利活用促進と連携強化を推進した。



川北町訪問



小松市訪問

取組項目	③住民意識の変革に資する防災講演会・講座等を実施
内 容	流域市町、県への出前講座の実施
実施主体	金沢地方気象台

県、流域市町職員研修や住民に対して、出前講座を実施。より良い防災気象情報の利活用や、早期避難を促す情報活用などの防災知識の普及啓発を促進。

・【実施概要】

- ・日 時：白山市職員研修会4/28、石川県危機対策課7/21、石川県危機管理研修8/26、白山・野々市災害ボランティア会10/17、白山市旭地区振興協議会11/6 など
- ・内 容：的確な早期避難に結びつく、段階的な気象情報の利活用などを中心に防災知識の普及啓発を実施。



各機関の減災に係る取組状況等 ～ 白山市 ～

取組項目	新技術を活用した水防資機材の検討及び配備
内 容	水防倉庫及び倉庫内資機材の点検
実施主体	手取川水防事務組合(事務局兼務)

- ・水防倉庫(美川堤、朝日前三番堤、道下堤、神田堤、伝兵衛島)
平成28年10月7日 朝日前三番堤倉庫入口留め金交換(暴風による破損)
平成28年10月14日～11月14日 伝兵衛島水防倉庫屋上修繕工事实施
- ・倉庫内機材の点検(随時実施)



伝兵衛島水防倉庫
屋上修繕工事



伝兵衛島水防倉庫
屋上修繕工事完成



朝日前三番堤倉庫
入口留め金交換

取組項目	①氾濫特性を踏まえたリアルタイムの浸水情報提供
内 容	①白山市メール(防災・防犯)②防災行政無線のデジタル化 ③あさがおテレビデータ放送緊急情報④Facebookによる情報提供⑤Lアラート⑥ドローンの研究
実施主体	白山市

- ①、③、④、⑤実施済み
 ②平成28年度美川地域での整備完了、平成29年度白山ろく地域にて実施(平成29年3月から住民説明会(戸別受信機の配布)を実施中)
 ⑥検討中



防災行政無線戸別受信機

取組項目	①自治会や地域住民が参加した洪水に対する水害リスクの高い箇所共同点検の実施
内 容	・河川管理者と地域住民等で重要水防箇所等の共同点検を実施する。
実施主体	金沢河川国道事務所

- ・平成28年11月1日 石川海岸冬季風浪対応訓練に係る重要水防区域パトロール
市職員2名、消防団員2名参加



重要水防区域パトロール

取組項目	②昭和9年洪水を伝承し、水防工法を学ぶ親子防災教室の実施
内 容	・市内の学校から要請により出前講座等を行う。
実施主体	白山市

平成28年7月23日 防災教室実施 白山市立松南小学校

・主に避難所設営に係る講座を実施



防災教室
(白山市立松南小学校)

取組項目	③住民意識の変革に資する防災講演会・講座等を実施
内 容	まちかど市民講座の開催
実施主体	白山市

防災意識の啓発のため、町会、各種団体等を対象に市民講座を開催する。

平成28年度(実績) 10会場にて実施
のべ274名参加



まちかど市民講座の様子

取組項目	⑥住民の防災意識を高め、地域の防災力の向上を図るための自主防災組織の充実
内 容	①自主防災組織の育成②防災士のフォローアップ③女性防災士の増員④家庭用防災用品への補助
実施主体	白山市

- ①自主防災組織の組織率95.0%(平成28年度実績)
 ・自主防災委員会の設立(5委員会)・防災訓練(図上、避難所開設)の随時実施
- ②防災士のフォローアップ ・研修会の実施
- ③女性防災士の増員 ・女性協議会への働きかけ
 ・平成29年度発足に向け南消防団女性分団設置準備
- ④家庭用防災用品への助成 27件(平成28年度実績)
 市民が購入した防災用品に対して、その経費の3分の1相当額(3,000円を上限)



自主防災組織を対象に図上訓練を実施



避難所開設訓練



防災士を対象に行った研修会

取組項目	①外水・内水氾濫に対応した水防団等への迅速な水防活動の連絡体制の確保や実働訓練の実施
内 容	①水防連絡会にて連絡体制の確認を行い、河川管理者が行う情報伝達訓練に参加する。②情報伝達訓練への参加③防災行政無線デジタル化④白山市メール(防災・防犯)⑤あさがおテレビデータ放送緊急情報
実施主体	白山市

- ①、②金沢河川国道事務所が行う情報伝達訓練に参加。
 ③・松任、鶴来地域(屋外)・美川地域(戸別受信機配備) ・白山ろく地域(屋外子局整備、戸別受信機配備)
 ④白山市メール(防災・防犯)
 ⑤あさがおテレビデータ放送緊急情報



防災行政無線戸別受信機



白山市メールイメージ

取組項目	②自治体関係機関や水防団が参加した洪水に対するリスクの高い箇所での合同巡視の実施
内 容	・河川管理者と水防関係機関で重要水防箇所等の合同巡視を実施する。
実施主体	金沢河川国道事務所、石川県

【実施概要】

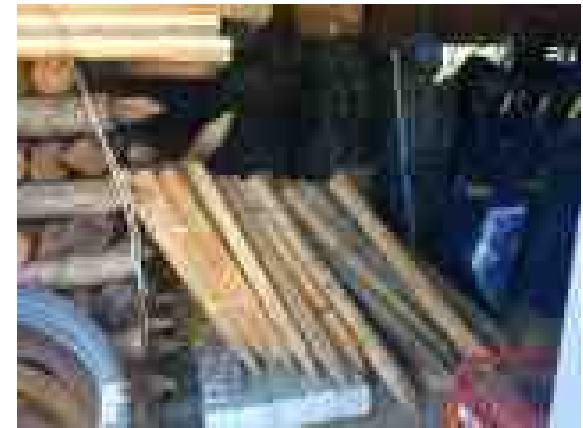
- ・日 時：平成28年6月10日 手取川重要水防箇所パトロールへの参加
- ・参加者：金沢河川国道事務所、石川県、流域町村
- ・内 容：① 重要水防箇所パトロール
② 水防倉庫の資材の確認



手取川重要水防箇所
パトロール(資材の確認)



手取川重要水防箇所
パトロール(鶴来観測点)



手取川重要水防箇所
パトロール(資材点検)

取組項目	③毎年、関係機関が連携した水防実働訓練等を実施
内 容	・自主防災委員会等による防災訓練 ・水防管理団体が行う訓練への参加 ・毎年、出水期前に水防訓練を実施 ・毎年行っている水防訓練の内容を見直し、実働水防訓練を実施
実施主体	金沢河川国道事務所

平成28年5月27日 洪水対応演習(金沢河川国道事務所)

取組項目	④水防活動の担い手となる水防団、水防協力団体の募集・指定を促進 または地域事業者による水防支援体制の構築
内 容	災害時協力事業所登録制度 ・36事業所(物資供給、建設業等) ・水防活動の担い手となる水防団員の募集を促進する。
実施主体	白山市

- ・災害時協力事業所登録制度
物資供給、建設業等36事業所（平成29年3月末現在）
- ・災害協定の締結 北陸信用金庫と美川支店屋上を津波、洪水等の指定緊急避難場所として供用することについての申し出を受け、協定を締結した。
- ・水防活動の担い手となる水防団員(消防団員)の募集を促進する。



北陸信用金庫との協定
締結式



消防団辞令交付式

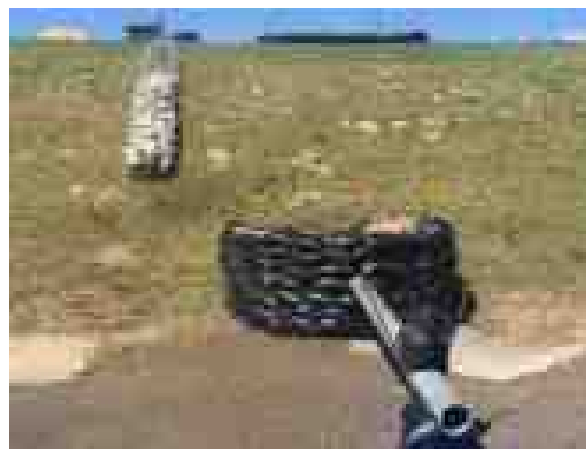
取組項目	⑤国・県・自治体職員等を対象に、水防技術講習会を実施
内 容	・水防工法講習会への参加
実施主体	金沢河川国道事務所

国土交通省北陸整備局金沢河川国道事務所が主催した水防工法講習会へ、職員、消防団員を派遣し、技術の向上を図った。

- ・日 時：平成28年6月2日
- ・参加者：危機管理課職員2名、新任水防担当職員6名、消防団11名
- ・内 容：① 縄結び
②鉄線結束
③土のう作り
④工法実技(月の輪工ほか)



土のう作りの様子



月輪工、立てかご工



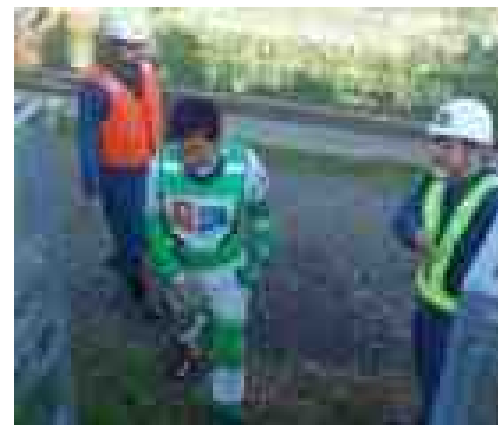
月輪工検証

取組項目	①要配慮者利用施設による避難確保計画の作成に向けた支援を実施
内 容	福祉避難所開設に係る施設との協定締結等
実施主体	白山市

- ・福祉避難所開設に係る施設との協定締結(長寿介護課)
- ・避難行動要支援者名簿の作成、協定の締結(生活支援課)
- ・浸水想定区域図等の公表後に要配慮者利用施設における計画策定の推進を実施予定(現在は、施設側から相談があった場合、個別に説明、助言等を実施している)。
- ・避難訓練への要配慮者の参加、シミュレーションの実施



福祉避難所表示板



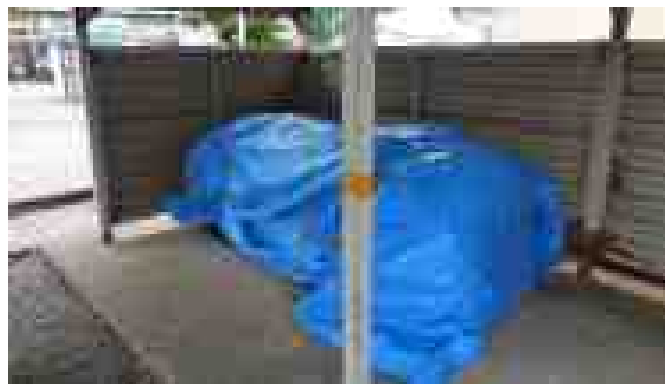
避難訓練時に体験器具を
装備し、シミュレーションを実施

取組項目	①大規模災害時の救援・救助活動等支援のための拠点等配置計画の検討を実施
内 容	①土のう備蓄ボランティアへの協力②土のうの配備③各種資機材の整備④各種備蓄品の整備(アレルギー対策食品への更新を含む)⑤浸水想定区域図等の公表後に広域支援拠点等の配置等を検討
実施主体	白山市、手取川水防事務組合

- ①一般社団法人 白山・石川建設業協会主催 平成28年6月3日 65名参加
 ②土のうの配備(市内施設へ順次配備)
 ③各種資機材の整備
 ④各種備蓄品の整備(アレルギー対策食品への更新を含む)
 ⑤浸水想定区域図等の公表後に広域支援拠点等の配置等を検討



土のう備蓄ボランティア作業風景



土のうの配備状況
(林中公民館)



備蓄品の整備

取組項目	①大規模水害を想定した手取川排水計画(案)の検討を実施
内 容	・排水施設等の情報を確認・共有し、排水ポンプの設置箇所の選定
実施主体	白山市

検討中

取組項目	②排水ポンプ車の出動要請の連絡体制等を整備
内 容	・河川管理者と連携を図り、連絡体制の整備を行い毎年確認する。
実施主体	金沢河川国道事務所、白山市

検討中

取組項目	③関係機関が連携した排水実働訓練の実施
内 容	・水防訓練と合同で実施を検討 ・河川管理者が行う定期的な操作訓練に参加
実施主体	金沢河川国道事務所、白山市

検討中

各機関の減災に係る取組状況等 ～ 能美市 ～

取組項目	新技術を活用した水防資器材の検討及び配置
内 容	出水期前の備蓄倉庫内確認、指定避難所に備蓄倉庫を整備
実施主体	能美市

出水期前に備蓄倉庫の確認。また、指定避難所8箇所にて備蓄倉庫を整備

【実施概要】

- ・時 期：出水期前
- ・内 容：出水期前に備蓄倉庫を確認(能美市役所内)



取組項目	大規模災害時の救援・救助活動等支援のための拠点等配置計画の検討を実施
内 容	5箇年計画による各種備蓄品の整備
実施主体	能美市

災害発生の際に必要なとなる備蓄品について、5箇年計画により各備蓄倉庫に整備
【実施概要】

- ・時 期：平成25年度から5箇年
- ・内 容：食料、飲料、発電機、簡易トイレ、マット、毛布、コードリールなど



取組項目	円滑な避難活動や水防活動等に資する監視カメラや簡易水位計、侵食センサー等の整備
内 容	河川等監視カメラの設置
実施主体	能美市

過去に冠水した箇所及び高速アンダー等に、水位等を監視するカメラを設置。
市民にも閲覧できるようにホームページに掲載

【実施概要】

- ・時 期：平成27年3月
- ・内 容：能美市内14箇所に河川の監視カメラを設置



取組項目	氾濫特性を踏まえたリアルタイムの浸水情報提供
内 容	防災行政無線のデジタル化及び個別受信機の全戸配布
実施主体	能美市

経年劣化で故障も多いことから、防災行政無線を更新。併せてアナログ波の廃止も考慮し、デジタル無線を導入。

【実施概要】

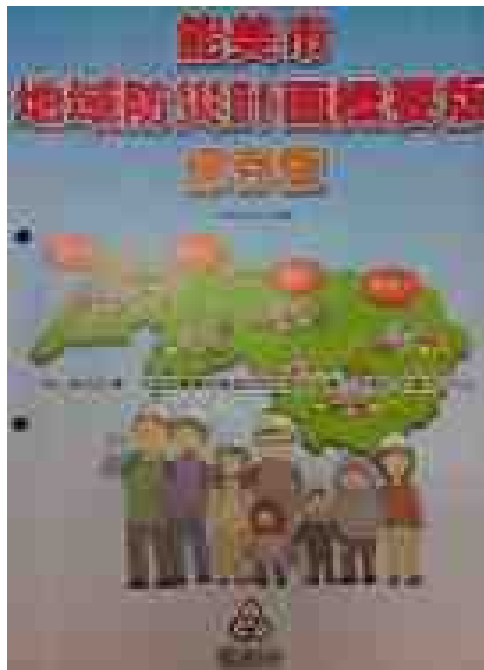
- ・時 期 : 平成21年度から平成25年度
- ・内 容 : 屋外拡声子局 市内55箇所
個別受信機 全戸配布



取組項目	住民意識の変革に資する防災講演会・講座等を実施
内 容	住民等を対象とした出前講座
実施主体	能美市

年間を通して、各種団体、学校や町会・町内会から出前講座の要望を受けて実施
【実施概要】

- ・時 期：通年
- ・参加者：住民、町会・町内会他
- ・内 容：H28年度 16町会・町内会から依頼



地域防災計画概要版



学習状況

各機関の減災に係る取組状況等 ～ 小松市 ～

取組項目	新技術を活用した水防資機材の検討及び配備
内 容	出水期前に水防倉庫内の備品の状態及び数量を確認する
実施主体	小松市

小松市の管理する・丸の内水防倉庫・国府水防倉庫・中海水防倉庫において備蓄されている水防用資材の数量及び状態を点検を行いました。

【実施概要】

日 時 : 平成28年4月28日

参加者 : 小松市 2名



中海水防倉庫



国府水防倉庫

取組項目	・洪水に対するリスクの高い箇所共同点検の実施 ・自治体関係機関や水防団が参加した洪水に対するリスクが高い箇所の合同巡視の実施
内 容	河川管理者と重要水防箇所の共同点検を実施
実施主体	手取川・梯川・石川海岸水防連絡会

河川管理者及び関係機関と重要水防箇所の共同点検を実施しました。

【実施概要】

- ・日 時：平成28年6月10日(金)
- ・参加者：石川県、関係自治体、関係民間企業、金沢地方気象台、金沢河川国道事務所水防団 約40名
- ・内 容：① 手取川及び梯川における重要水防箇所の点検
② 手取川及び梯川における水防倉庫の点検



手取川 右岸3.8k(能美市粟生町)



梯川 左岸8.5k(小松市佐々木町)



南加賀土木総合事務所水防倉庫

取組項目	外水・内水氾濫に対応した水防活動の連絡体制の確保や、実動訓練の実施
内 容	河川管理者と市・消防本部・消防団の連絡体制の確認
実施主体	①国土交通省金沢河川国道事務所 ②小松市

①関係機関と合同で総合的な洪水対応演習への参加しました。

【実施概要】

- ・日 時：平成28年5月27日(金)
- ・内 容：関係機関からの洪水予報、水防警報等の情報伝達の演習

②緊急連絡網の確認と早朝参集訓練の実施

【実施概要】

- ・日 時：平成28年5月25日(水)
- ・内 容：梯川の水位上昇を想定し、市水防職員の参集訓練を実施



①演習状況



②参集訓練状況

取組項目	関係機関が連携した水防実動訓練の実施
内 容	①水防工法講習会への参加 ②土嚢製作訓練の実施
実施主体	①手取川・梯川・石川海岸水防連絡会 ②小松市

①小松市職員2名、消防団4名、水防工法講習会に参加しました。

【実施概要】

- ・日 時：平成28年6月2日（木） 9:30～14:30
- ・内 容：水防工法の実技

②市水防職員の水防工法研修を実施しました。

【実施概要】

- ・日 時：平成28年5月25日（水）
- ・内 容：水防工法の実技



①縄の結び方についての実技



①月の輪工の実技



②市職員の実技

取組項目	水防活動の担い手となる水防団、水防協力団体の募集・指定を促進
内 容	消防団員の募集を促進する
実施主体	小松市

消防団員の募集を広報機関紙・ホームページ等で呼びかけました



広報機関紙



消防本部ホームページ

取組項目	・排水ポンプ車の出動要請の連絡体制等を整備 ・関係機関が連携した排水実動訓練の実施
内 容	排水ポンプ車操作訓練への参加
実施主体	国土交通省金沢河川国道事務所

職員自らが排水ポンプ車の設営手順等を理解するため、操作訓練に参加しました。

【実施概要】

- ・日 時：平成28年6月14日(火) 14:00～16:30
- ・参加者：七尾市、内灘町、野々市市、白山市、小松市、加賀市、金沢河川国道事務所 約20名
- ・内 容：① 排水ポンプ車の設営及び排水作業



訓練状況



訓練状況



訓練状況

取組項目	氾濫特性を踏まえたリアルタイムの浸水情報提供
内 容	多様な災害情報伝達手段の整備
実施主体	小松市、テレビ小松、ラジオこまつ

- ・小松市では、防災行政無線や災害緊急メール、コミュニティFM、ケーブルテレビなどを活用し、市民に対して災害情報を伝達するほか、平成29年度までにデジタル簡易無線を全世帯に整備していく。

【情報伝達手段】

(整備済み)

防災行政無線、災害メール、HP、facebook、twitter、コミュニティFM、ケーブルテレビ、Jアラート、エリアメール、Lアラート

(平成29年度までに整備予定)

デジタル簡易無線



防災行政無線



デジタル簡易無線

取組項目	避難勧告等の発令に着目した防災行動計画(タイムライン)の検討・検証等
内 容	梯川・手取川タイムラインの作成
実施主体	小松市

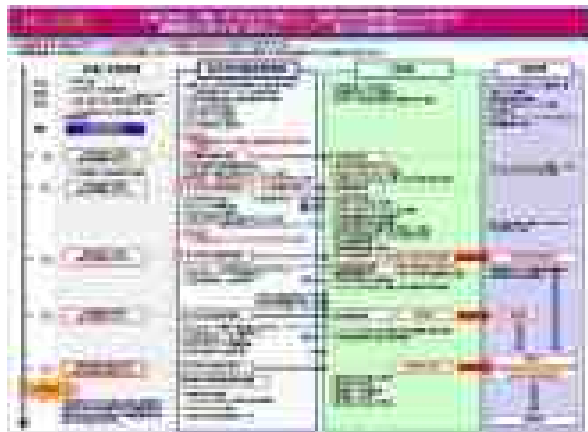
- ・協議会での関係機関からの意見や情報提供を参考に、他市町と情報交換を図りながら避難勧告等の発令に着目したタイムラインを見直すとともに、避難勧告等の発令基準のあり方も検討していく。また、これと同時に防災(水防)初動期対応マニュアルを見直す。

【梯川】

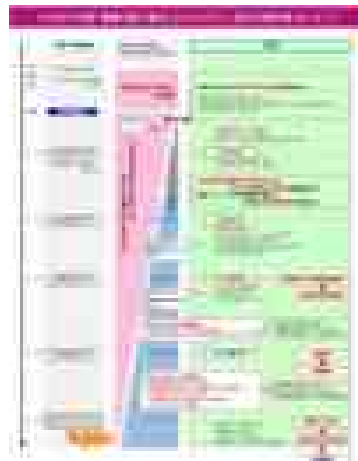
- ・梯川のタイムラインについては作成済であるが、今後の避難計画の見直しを踏まえ更新する。また、想定最大規模(L2)の洪水を踏まえた小松市独自のタイムラインを作成する。

【手取川】

- ・手取川タイムラインのたたき台は作成済みであり、公表後、協議会の中で検討する避難計画等を踏まえ内容を精査する。



梯川タイムライン



市独自の梯川タイムライン【案】
(L2洪水想定)



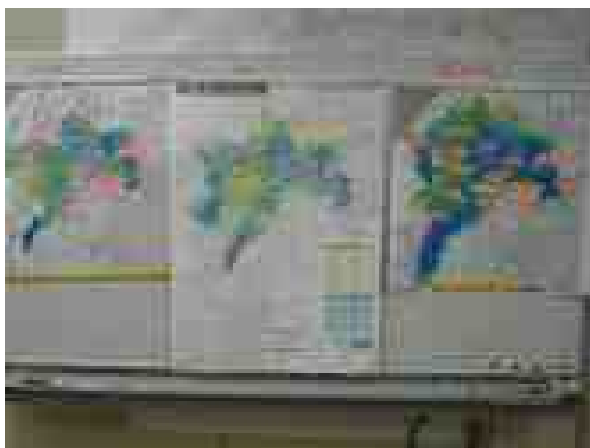
手取川タイムラインたたき台

取組項目	関係機関と住民が協働しながら、外水・内水氾濫に対応した避難計画の検討
内 容	梯川氾濫時の避難計画の作成
実施主体	小松市

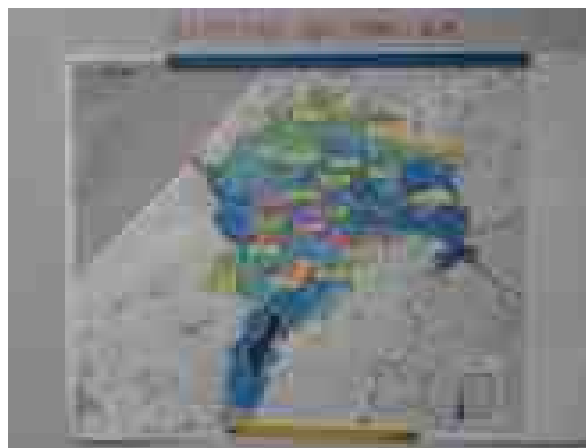
- ・想定最大規模(L2)の洪水に対し、県河川や内水氾濫を含め、建物内の垂直避難、他校下への広域避難、他市への広域避難、避難行動要支援者の避難支援のあり方など多角的な方面から避難方法等を検討する。
- ・現在の避難所や避難経路についても見直しを図りながら、他市町とも情報交換を図り、実効性のある避難計画を検討していく。
- ・入所福祉施設(老人・障がい)の実態把握を行い、関係各課と連携を図り、計画や訓練の支援に繋げていく。

【梯川氾濫時における避難計画検討会】

- ・日 時：平成29年2月10日(金)9:30～
- ・参加者：行政管理部長、都市創造部長、道路河川課、防災安全センター



想定規模・想定最大規模の比較



区域内の福祉施設・病院位置図



区域範囲・浸水深調査

取組項目	住民の防災意識を高め、地域の防災力の向上を図るための自主防災組織の充実
内 容	防災力・減災力の向上
実施主体	小松市

- ・自主防災訓練や防災研修会などを通じ、市民に水防災に対する意識啓発を図っていくとともに、全25校下に避難所運営協議会を設置し、地域住民主体の避難所運営を目指し、地域防災力を向上させる。

【防災・減災に向けた取組み】

- | | |
|-----------------|----------------|
| ①防災士・しみん救護員の養成 | ②避難所運営協議会の設置 |
| ③自主防災訓練の実施率向上 | ④自主防災組織のランクアップ |
| ⑤避難所担当職員のレベルアップ | ⑥備蓄品の更新 |
| ⑦災害応援協定の締結 | ⑧洪水モデル地区の選定 |



防災士・しみん救護員の活動



避難所運営訓練



イオンとの災害応援協定調印式

各機関の減災に係る取組状況等 ～ 川北町 ～

取組項目	小学校の授業において河川水防学習を実施
内 容	河川水防教室の実施
実施主体	川北町

川北町は、町内における小学校4年生全員を対象に、河川水防学習を実施しました。

【実施概要】

- ・日 時：平成28年6月14日(火)13時～15時
- ・参加者：金沢河川国道事務所、川北町内小学校の4年生、その他協力企業、川北町
- ・内 容：① 河川水防学習(堤防の役割、手取川についてなど)



全体説明



演習場所全景



堤防の作成演習

各機関の減災に係る取組状況等 ～ 野々市市 ～

取組項目	ソフト対策
内 容	①「水害時における避難行動計画及び避難勧告等の判断・伝達マニュアル」の策定 ②「【手取川】台風の接近・上陸に伴う洪水を対象とした、野々市市の避難勧告の発令等に着目したタイムライン(防災行動計画)」の策定
実施主体	野々市市

野々市市防災会議において、地域防災計画の修正とともに、「水害時における避難行動計画及び避難勧告等の判断・伝達マニュアル」及び手取川におけるタイムラインについても審議いただき、策定となった。

【実施概要】

・日 時：平成29年2月23日 ・参加者：防災会議委員16名



防災会議



タイムライン